



奈良町にぎわい通信

Vol.28

二〇一七・立秋ゝ処暑

発行
奈良町
にぎわいの家





墨をすると心落ち着くね。

奈良墨ワークショップ



書家の
谷真理子先生



奈良墨の良さを伝える
小林優介先生



大峯講などのお話を。

史料保存館とのコラボ
タイムトラベル奈良町
「奈良町の講」



短歌は初めてという方も、
のびのびと歌を作りました。



歌人の喜多隆子先生



手作りの資料！

奈良町にぎわいの家 7月のイベントから



裏庭で収穫して
いただきます！



夏休み恒例の
燈籠作り。

夏休み！
かまど体験に
燈籠作りに...
にぎわいの家、
にぎわうの巻！



蔵展示
「町家の住まいに学ぶ」



夏暗い中で灯すと...。



こちらが
お父様の
力作！

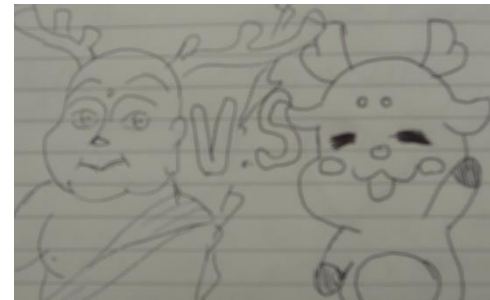


細田七海先生
の指導で。

奈良町にぎわいの家・感想ノートより

奈良町にぎわいの家の「離れ」に、自由に書いていただけるノートを置いています。
開館から2年半、8冊目のノートから、ほんの一部ですが、最近のお客様の声を紹介します。

- ・神戸から来ました。何かしら古里に帰ってきたように感じました。ご立派なお屋敷でびっくり致しました。
- ・東京、新宿から夫婦で来ました。とても懐かしく、子供の頃を思い出しました。特に祖母のことを思い出しました。素敵な時間を有り難うございます。
- ・ほんとにすがすがしい気持ちで、ほっとします。久し振りに奈良町を歩きました。
- ・福岡から来ました。「ならまち」という場所は知らなかったですが、ネットを見て初めて訪れました！昭和の日本を感じてなんかすごく落ち着くところでステキです。また来ます。(26歳・女性)
- ・はじめて奈良に来て、あてもなくお散歩していたら見つけてお邪魔しました。ケン玉、楽しかった。次も伺います！
- ・慌ただしい現代社会の中で、静寂を保ち、ひっそりと佇む空間に、大変、癒されました。ここにいると心が落ち着いて、風が吹き抜け、気分も爽やかになります。
- ・東京から来ました。こんな素敵な場所が無料開放されているなんて素晴らしいです。ゆっくり休ませて頂きました。
- ・また来ました。今回は初夏の奈良を撮り歩いています。新緑が美しい庭で。にぎわいの家がさらに賑わっていました。秋もまた来ます。
- ・香川県から来ました。この場所、なんでこんなに落ち着くんですか？(笑) 幸せです。小学校修学旅行以来の奈良、改めて大好きになりました。
- ・台湾から来ました。2回目の奈良です。今回初めてにぎわいの家に来ましたが、次の3回目も奈良に行ったら 友達とここに来たいです。
- ・本当に美しい家！束の間ですが、楽しめました。町中の喧噪から離れて。(フランスからのお客様)



遷都くんとシカマロくんのイラストもノートに。

夏のかまど体験 ～そうめんの日に～

七夕7/7はそうめんの日、ということで、当館のかまど体験も「そうめん」企画です。そうめん、といえば、6月に桜井市で「そうめん条例」ができたことが、話題になりましたね。すると涼しげに喉を通っていく「そうめん」は奈良を代表する夏の味覚。かまどで茹で上げたそうめんと、参加者の皆さん、美味しく召し上がっていました。



具材は裏庭で収穫。

かまどご飯にかまどおにぎりも。おなか、いっぱいになりました。



茹で加減は
どうかな？



奈良町にぎわいの家 二十四節気葉書 ～立秋～

にわか雨が降った
春日の森に
ツクツクボウシが
ひとつ鳴き始めた
立秋の夕暮れです。



驟雨過ぎし
春日の森に法師蟬
ひとつ鳴きいづ秋立つゆふへ

オリジナル節気短歌
喜多隆子(歌人)
節気マーク・
はぎデザイン
金田あおい(藍寧舎)

事務局だより

2017
処暑号

思いを馳せるゝ夏から秋へ

事務局長 藤野正文

真夏の中、皆さんいかがお過ごしでしょうか？とはいっても、もう季節は「立秋」に。時候挨拶も「暑中見舞い」から「残暑見舞い」になりました。

まだまだ暑く、夏真っ盛りというころですが、七十二候の初候は

「涼風至」（すづかぜいたる、涼しい風が立ち始める）で、藤原敏行は「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる」（古今和歌集）と詠んだようで、気のせいか朝夕は少し涼しい風が吹き始めましたね。

空を見上げると少しずつ、秋は近づいているようで、夏の代名詞である「入道雲」ではなく、秋の空に多くみかける「いわし雲」や「うろこ雲」が見られます。

微妙に変化し移り行く日本の季節そんな秋の気配を探してみたいかたでしょうか？

また、お盆は、夏を代表する仏教行事のひとつですが、日本古来の祖先の霊を祀る（まつる）信仰が次第に混ざっていったものという考え方もあるようです。そういえば、小さなころキュウリとナスをお供えした記憶があります。

当時は理解していませんでしたが、キュウリの馬は、祖先の霊が馬に乗って少しでも早くおこし下さいと言う気持ちを、ナスの牛は、滞在后は牛に乗ってなるべくゆっくりお帰り下さいという気持ちを表わしているようです。本当にこまやかな気遣いで祖先の霊を迎え、送り出していたんですね。お盆の時期は、しばし、記憶をたどり、祖父母や父母らの生きてきた大正昭和の苦難と発展の時代を思い出しながら、引き続き続く、次の時代・社会のあり方に思いを馳せるのも、この時期ならではのこともかもしれません。

8月の奈良町にぎわいの家では、次の時代を担う子ども向け体験イベントを多数実施しています。親子かまど体験、町家の夜・親子体験、また、蔵では照明を落として、少し涼しくなる展示をしています。ぜひお越しください。

にぎわいの家100年企画告知！

「奈良町かまどサミット」

9月23日（土・祝）午後2時～4時
無料（要・申込み）

当館のかまど体験、おかげ様で好評ですが、奈良町には他にもかまどがある！？この企画は、南観光所、物語館他、各施設のかまどの紹介、活動報告と、かまどの構造など、かまどを詳しく知るお話も聞け、更にかまどおにぎり体験も。「かまど」が身近になる企画！皆様、是非、ご参加ください。



水墨画体験～それぞれの葡萄を



にぎわいゝ夏風景ゝ

体験茶会～笹のしづらが涼しげ

奈良町にぎわい通信vol.28

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00～17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

書...逢香



奈良町にぎわいの家
オリジナル節気マーク



立秋

8/7～22



処暑

8/23～9/6

隕石（いし）もてば
もゆらに響く音なりし
立秋の雨にその肌ひかる
前登志夫（歌人）